

LINDO JAPAN からのお知らせ（成蹊大学経済学部 教授 新村秀一 作成）

LINDO Systems Inc.（社長：Linus Schrage シカゴ大学教授）は、住商情報システム株式会社(SCS)の申し出により、2007年9月をもちまして日本における総代理店契約を解消します。SCSは、その後90日間サポートを継続いたします。新村は、SCS在職中1977年にSASを日本に紹介、1984年にLINDO社の総代理店になり、その後SpeakeasyやMathematicaなどの数多くの理数系のソフトの販売サポートを「**学術バック**」というブランドで一つの事業として行ってきました。1996年、新村が成蹊大学経済学部に転職するに際して、新村の強い希望でLINDOとSpeakeasyに限定しSCSは営業を行ってきました。

このたび、SCSが代理店契約を解消するに当たり、開発元のLinus Schrage教授より相談を受け、当面は新村が**LINDO JAPAN**を立ち上げ、業務を有限会社MICE（社長：市川均）、システム開発とコンサルティングを(株)構造計画研究所（OR研究室）などに全面委託することが最善との合意に至りました。

（1）SCSに代わる代理店を民間企業に決定しない理由は次のとおりです。

- ・ 開発者のLinus Schrage教授は、使いやすく、強力な数理計画法のソルバーを他の競合製品より1桁安い価格で提供することに使命感を持っています。私自身の経験でも、数年前からSolverSuiteを大学の情報教育センターのPCにいれ授業で使っていますが、永久使用権のため今後も使い続けると思います。数理計画法の導入数は間違いなくNo.1ですが、年間ライセンスでないためそれほど商売上魅力がない点です。すなわち、特別な思い入れが責任者になれば、長年にわたり事業の継続が難しいと想定されます。
- ・ 企業であれば利益が必要です。それをまだ日本に紹介されていない解説書などの出版に当たった方が日本のユーザの最終利益になると考えました。近々その第1弾として、Linus Schrage教授のLINGOに関する解説書を出版する予定です。また、日本のユーザーによる情報なども紹介していく予定です。

（2）今後の販売方法の情報に関して

年内は、Googleで「新村秀一の書齋」をご覧ください。各種情報を掲載いたします。販売価格は、「Web価格」と「日本価格」の2本立てにいたします。「Web価格」は、米国価格にトラベラーズチェックの購入価格をかけ、1万円で切り上げています。年1回更新します。購入される場合は、MICEのHPから製品情報を確認し、LINDO Systems Inc.のHPからデモ版をダウンロードし、MICEのHPで購入を申し込み、**LINDO JAPAN**の銀行口座に消費税込みの代金を振り込むことで、3日以内にLINDO Systems Inc.からライセンスキーが送られてきます。「日本価格」は、見積書、請求書、納品書など人手を介して行う従来の方式です。価格は、「Web価格」の1割り増しに設定されています。

（3）ユーザー登録のお願い

LINDO JAPANは、SCSよりユーザーズリストを引き継ぐ予定ですが、個人情報保護法の関係でそれに基づいてユーザー様に直接連絡することができません。MICEのWeb頁からユーザー登録を行ってください。これにより、SCSに変わって継続してユーザーとしてサポートいたします。ユーザー登録されれば、バージョンアップなどの特典が受けられます。また、今後出版予定の解説書などを謹呈する予定です。

（4）MICEと(株)構造計画研究所の役割

有限会社MICE（社長：市川均）の市川は、SCS在職時、当時上司の新村の**学術バック**の販売・企画・サポートを担当しました。今後は、**LINDO JAPAN**の業務を受託し「Web価格」での販売とサポートを担当する予定です。また、(株)構造計画研究所さまに発注されたユーザーも一元管理し、サポートも行います。

(株)構造計画研究所（OR研究室）は、LINDO APIを用いた数理計画法を含むシステム開発、コンサルタントを行います。また、上場企業の見積書などが必要な企業などへ「日本価格」での販売を行います。